

6月



いぬぶし

《編集・発行》
佐野警察署
電話 0283 (24) 0110
犬伏警察官駐在所
電話 0283 (23) 1632

水難事故に遭わないために

毎年夏季になると河川等で水難事故が発生し数名の方が亡くなっています。

全国的に子供や高齢者の事故が多く、河川での魚釣りや水遊び中に事故に遭うケースが大半を占めています。

☆水難事故に遭わないためには！

(魚釣りの方へ)

- ・流れの強い場所や深みには入らない。
- ・滑りやすい場所や崩れやすい場所を歩かない。

(水遊びの方へ)

- ・危険な場所では遊ばない。
- ・飲酒して川には入らない。
- ・子供だけでは遊ばせない。
- ・大人と一緒にいて監視する。



※ 子供たちが危険な場所で遊んでいたら声を掛けて、止めさせましょう。

ながら見守りにご協力を!

「ながら見守り」とは？

日常生活を普段通りに送りながら、防犯の視点を持って地域の子どもを見守る活動です。

例えば、
通勤しながら・・・
ランニングしながら・・・
散歩しながら・・・
買い物・庭仕事しながら・・・等です。



みんなでムリなく安心安全なまちづくり!

交通事故を防ぎましょう。

気温が高くなるこれからの時期は活動的になり、例年、夕暮れ時から夜間にかけて歩行者や自転車関係する重大事故が増加する傾向にあります。



歩行者や自転車利用の方は

- ☆明るい服装
 - ☆反射材の使用
 - ☆自転車ライトの点灯
- を心掛けましょう。

▲ 山の事故防止 ▲

登山前は…

- ・登山ルートを確認し、無理のない登山計画を立てる。
- ・登山計画書、登山カードを提出する。
- ・単独登山は控え、複数で登山する。
- ・通信手段の予備電池を準備する。



登山中は…

- ・悪天候時や体調不良の場合は、勇気をもって引き返す。
- ・大雪後や気温上昇時は雪崩が発生しやすいので、急斜面は通らない。
- ・目的地に着かなくても日暮れまでに下山する。